

2026/6/12 (金)
世界遺産を観る会

主宰 松島 成美

日本の世界遺産



「奥州藤原氏が夢見た、戦いのない理想郷
— 世界遺産・平泉」

中尊寺金色堂



教会の世界遺産ではなく、“信仰を守った
人々”の世界遺産

長崎・天草の潜伏キリシタン関連遺産

奥州藤原氏とは？

- 12世紀に東北地方を治めた
 - 初代 藤原清衡
 - 二代 藤原基衡
 - 三代 藤原秀衡が
- 築いた平和国家です。
- 戦乱で亡くなった人々を敵味方なく供養し、「争いのない理想郷（浄土）」を地上に実現しようとした。

世界遺産の主な構成資産

- 中尊寺
 - 金色に輝く「金色堂」が有名
- 毛越寺
 - 美しい浄土庭園
- 観自在王院跡
- 無量光院跡
- 金鷄山
- これらが一体となって「この世に仏の理想世界を表現した都市」として評価されています



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

- これは、単に教会を集めた世界遺産ではありません。
 - 250年以上にわたり、禁教の中で信仰を守り続けた人々の歴史を伝える遺産で、2018年に世界文化遺産に登録されました。
- 潜伏キリシタンとは
 - 1549年に フランシスコ・ザビエル が来日してキリスト教が広まりましたが、その後、江戸幕府はキリスト教を禁止しました。
 - しかし長崎や天草の人々の中には、表向きは仏教徒や神道の信者として暮らしながら、密かにキリスト教の信仰を守り続けた人々がいました。
 - 彼らを「潜伏キリシタン」と呼びます

世界遺産は12の構成資産から成り立っています

- 代表的なものは、
- 原城跡
 - 「島原・天草一揆」の舞台潜伏の始まりを象徴
- 崎津集落
 - 漁村の中で信仰を守り続けた集落
- 大浦天主堂
 - 禁教後、潜伏キリシタンが名乗り出た「信徒発見」の舞台
- 頭ヶ島天主堂
 - 五島列島を代表する美しい石造教会などです。



長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

旅するように学ぶ世界遺産
-Exploring Our World Heritage Sites-

2026/6/12 (金)
世界遺産を観る会

主宰 松島 成美

日本の世界遺産



中尊寺金色堂



長崎・天草の潜伏キリシタン関連遺産

終わり